令和４年１２月２６日

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長　佐藤　樹一郎　殿

所　在　地　〒870-0021 大分市府内町 3-8-11
団　体　名　一般社団法人大分学研究会
代表者氏名　代表理事　楢本譲司
電　　話　097-538-9731

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第１３条の規定により、下記のとおり報告します。

記

１．交付決定年月日　令和４年９月１日
　　交付決定番号　協働第８８０号

２．事業名　第10回しんけん大分学検定

３．補助金の交付決定通知額　１２９，７０６円

４．補助金の概算交付額　０円

５．補助金の精算額　１２９，７０６円

６．事業の成果

受験や問題の新聞公開を通じ多くの大分市民が市内の魅力について知ることができた

７．添付書類
（1）あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
（2）あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
（3）活動目標に関する報告書
（4）その他市長が必要と認める書類

（この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。）

市民協働推進課
受付
4.12.26
880-1

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団　体　名	一般社団法人大分学研究会
事　業　名	第10回しんけん大分学検定
主な活動地域	※　該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。 ☑ 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】 □ 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】 □ 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】 □ 滝尾【滝尾】 □ 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】 □ 明野【明野】 □ 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】 □ 大南【戸次、判田、竹中、吉野】 □ 稙田【稙田、宗方、横瀬、東稙田、寒田、敷戸、鴛野、賀来】 □ 大在【大在西、大在】 □ 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】 □ 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】 □ 野津原【東部、中部、西部、今市】 □ 市内全域

実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等) ※別紙添付可	時期(月)	実施場所	受益対象者数	実施内容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	11月	コンパルホール オンライン	158人	大分のことをどれだけ知っているかを問う検定試験 ① 入門コース（誰でも受験可） ・100問、100点満点、三択もしくは○×式 ② マスターコース（過去の大分学検定で初級以上の認定者に限定） ・一般問題100問、1問1点、三択・○×・記述 ・スペシャル問題5問、1問4点 ・120点満点 いずれのコースも会場受験とオンライン受験で実施 受験結果は、別紙のとおり

使用した広報手段とその効果	使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等） ポスター・チラシ 専用 WEB サイト
	今年度行った広報の効果 ポスター及びチラシを市内の図書館、公民館、書店等に配布することで市民への認知度が高まった。 併せて、WEB サイトでの情報発信により、若年層へのチンチ度を高めることができた。
事業の成果	地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があらわれたのかを、できるたけ詳細に記入してください。） 大分の魅力についての問題を解くことによって、地域に対する知識を深め、大分に対する愛着や誇りを醸成することができた。
	市民への効果について（市民にとってどの様な効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。） 受験に先立って身近な魅力について、関係参考書等を通じて事前に学習することでより深く知ることができた。 中高生については、普段の授業では得られない郷土の歴史や文化について知るきっかけとなった。 転勤族として新たに大分市民となった人たちが企業単位で受験することで大分に対する親しみを深め、転出後も大分ファンとなり続けるきっかけとなった。 高齢者にとっては、検定にチャレンジすることで活力や知識力・記憶力の維持に大いに役立ち、健康寿命の増進に役立った。
来年度に向けた課題	今回から市内の公民館等での出前受験を可能にしたものの希望がなかったことから、市内の公民館と連携を深めより身近な公民館等で受験できるようにすることで受験者を拡大することが必要である。 市内の中高生の受験生がまだ少なかったことから、教育委員会と連携して中学校等への働きかける強めることが必要である。 過去の検定受験者を対象とした「マスターコース」の受験者が期待より少なかったことから、過去の受験者への働きかけを強める必要がある。

第10回しんけん大分学検定　結果概要

日時：2022年11月3日(文化の日)13：30～14：40
方式：会場受験（大分市コンパルホール多目的ホールほか）
オンライン受験

1．受検者数

①総数：158名(「入門コース」129名、「マスターコース」29名、受検登録者数168名)
②年代別：20歳未満31名（中学生14・高校生12）・20歳代40名・30歳代19名・
40歳代21名・50歳代18名・60歳代16名・70歳代以上13名
(最年少13歳中学生・最高齢81歳、平均年齢38.0歳)
③在住地別：大分市81・別府市34・宇佐市11・竹田市3・日田市2・豊後高田市2・
日出町2・豊後大野市1・臼杵市1・国東市1・中津市1・杵築市1・
（県外18名）東京都4・福岡県2・兵庫県2・長崎県1・宮崎県1・鹿児島県1・
山口県1・岡山県1・鳥取県1・京都府1・静岡県1・埼玉県1・北海道1

2．得点

①満点：「マスターコース」120点(一般問題100・スペシャル問題20)「入門コース」100点
②最高点：「マスターコース」116点(一般96・スペシャル20)1名「入門コース」91点3名
※第1回98、第2回110、第3回102(2名)、第4回102、第5回105、第6回105、第7回106、第8回115、第9回110
③平均点：「マスターコース」83.4点（一般問題71.6　スペシャル問題11.8)「入門コース」67.9点
※第1回65.0、第2回76.9点、第3回59.9、第4回59.5、第5回60.3、第6回59.9、第7回66.2、第8回68.5、第9回61.0
※「マスターコース」平均点の比較：会場83.9 オンライン82.6(未回答分を除く)

3．認定・表彰

「マスターコース」

①大分学上級(110点以上)：2名
1)116点名人8段・師範代　阿南　貴詞　36歳・豊後大野市在住（大分県知事賞）
2)110点名人6段　岩本　隆治　78歳・日出町市在住
②大分学中級特待生5段(100～109点)3名、中級特待生4段(90～99点)4名
3)103点特待生5段　佐藤　浩一　70歳・大分市在住（大分市長賞）
4)102点特待生5段　伊津野　孝　64歳・別府市在住（別府市長賞）
102点特待生5段　三宅　英明　77歳・大分市在住
6) 98 点特待生4段　上原　秀雄　45歳・大分市在住
7) 93 点特待生4段　安部　徹　81歳・大分市在住
8) 90点特待生4段　氏名非公表　76歳・大分市在住
90点特待生4段　森崎　英起　65歳・大分市在住
③大分学初級：3段(80～89点)7名、2段(70～79点)7名、初段(60～69点)3名

「入門コース」

①トップ賞91点：3名（けーた32/42歳・静岡県在住、大村真由/25歳・日田市在住
古井伸和/49歳・大分市在住）
②中学生トップ賞：83点　関　理彩子　13歳・大分市在住（大分県教育長表彰状）
③高校生トップ賞：70点　古長　範亜　17歳・大分市在住（大分県教育長表彰状）
④団体賞：平均得点.78.7点（NTT大分C、6名）
※平均得点が最高の団体（今回は8団体が受検）
⑤大分学初級（60点以上、次回検定から「マスターコース」受検可）：80名

しんけん大分学検定事務局：一般社団法人大分学研究会
TEL 097-538-9731　FAX 097-538-9724

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称：　第10回しんけん大分学検定

1　【収　　入】　（単位：円）

項　目	金　　額	説　　明（積算等）
補助金収入	129,706	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入		
事業収入	200,500	受験料
寄附金収入	460,000	大分県民芸術文化祭実行委員会・協賛金
そ　の　他	5,849	主催者負担金
合　　計	796,055	

2　【支　　出】　（単位：円）

項　目	金　　額	説　　明（積算等）
報　償　費	161,000	検定問題作成謝金（13名）105,000円　【対象外】 検定当日有償ボランティア謝金（7名）21,000円 答案採点謝金（7名）35,000円 （うち補助対象経費56,000円）
旅　　費	9,320	検定当日スタッフ交通費9,320円
消耗品費	6,331	事務用品等　（うち補助対象経費4,189円）
印刷製本費	343,089	ポスター・検定案内リーフレット156,200円 検定問題（入門コース・マスターコース）62,150円 受験票（入門コース・マスターコース）36,300円 認定書・表彰状等47,189円【対象外】 専用封筒41,250円　（うち補助対象経費295,900円）
通信運搬費	55,280	ポスター・検定案内リーフレット配送料37,400円 受験案内・認定書・検定結果・特別賞送料17,880円 （うち補助対象経費49,400円）
保　険　料	5,000	大分県知事賞竹トロフィー保険料
手数料・委託費	132,495	専用WEBサイト作成委託費132,000円 振込手数料495円
使用料・賃借料	83,540	検定会場（コンパルホール）使用料78,590円 検定当日備品使用料4,950円
合　　計	796,055	（うち補助対象経費635,844円）

備考　補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。
なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

活動目標報告書

1　自己収益（※）拡大に向けて

（1）目標としていた自己収益金の総額　800,000 円

（2）今年度の自己収益金の総額　660,500 円

（3）自己収益拡大に向けた具体的な取り組み
（目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策）

受験者数が当初見込んでいたほど増えなかったことから、受験料収入が目標額を下回った。特に、新規の受験者である入門コースの受験者は想定した目標に近い130名程度が受験したものの、過去の検定で大分学初級以上の認定者だけが受験できたマスターコースの受験者が30名程度にとどまったことが原因と考えられる。
受験料の高い「マスターコース」の受験者数アップに向けた取り組みを強化したい。

記入例：①会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。
②協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。
③来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。　など

2　受益対象者を増加させるための取り組み

（1）目標としていた受益対象者数　200 人（延べ人数）

（2）今年度の受益対象者数　158 人（延べ人数）

（3）受益対象者数の増加に向けた具体的な取り組み
（目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策）

特に、受験者が少なかった「マスターコース」受験者増に向けて、過去の検定受験者への働きかけを強めていきたい。